

# AdVision SDK for Android インストール方法

Version 1.2.1

## SDKの組み込み

### <u>Step1</u>

AdVisionAndroidSdk. jarをAndroidアプリケーションに入

れる。

<u>Step2</u>

アプリケーションの Layout の XML に広告位置を作る。(下

記は sample コード)。



<u>Step3</u>

ActivityのClassの中で、AdVisionを初期化する。

AdVision に登録する際、取得した SID を

Copyright (C) 2011 Yicha All Rights Reserved.



#### AdStart("YOUR\_SID")に書き込む。

AdVision adv = (AdVision)findViewById(R.id. advision);

adv.AdStart("YOUR\_SID");

## Step4

#### AndroidManifest.xml に、下記の権限を追加する。

<uses-permission android:name="android.permission.INTERNET"/>

 $\verb|`sigma constant c$ 

### <u>Step5</u>

AndroidManifest.xml のタグ application 内に activity

\_\_\_\_\_

#### を入れる。

<activity android:name="com.yicha.android.ads.VPActivity"</pre>

android:configChanges=*"orientation/keyboardHidden"* />

下記のような結果になる。





## 案件監視

#### 内部に広告がないかを監視することができる。

import com.yicha.android.ads.AdVisionListener;
oublic class YOUR_CLASS extends Activity implements AdVisionListener{
<pre>AdVision adv = (AdVision)findViewById(R.id. advision);</pre>
adv.AdStart("YOUR_SID");
//案件監視初期化
<pre>adv. setAdVisionListener(this);</pre>
@Override
<pre>public void onNoReceiveAd (String error) {</pre>
//広告なしの場合
//通信エラーなどのエラーによって、広告が表示されないこと以外
}

Copyright (C) 2011 Yicha All Rights Reserved.



	@Override	
	<pre>public void onReceiveAd () {</pre>	
	//広告なしから広告ありに変更した時	
	}	
}		

※ 以上、赤い部分を監視することができる。

## Proguard について

Proguard に対応させたい場合、下記の内容を参考して、proguard.cfg ファイルを修正してください。-keep class com.yicha.android.ads.\*\*{\*;}

## 過去のバージョン

- (一) バージョン1.2.1
- 1, ビデオ再生機能の追加
- 2, app Proguard の対応可能
- (二) バージョン1.2.0
- 1, 八つのクリック効果が追加される。
- 2,広告ローテーションの時間設定可能。
- 3,広告切替時のアニメーション効果追加。

### <u>バージョンアップの注意点</u>

バージョン1.1.\*と1.2.0から1.2.1までアップデートする時、

- 1, AdVision SDK の差し替えが必要。
- 2, AndroidManifest.xmlのapplicationにActivityのタグを追加する。

<activity android:name="com.yicha.android.ads.VPActivity"</pre>

android:configChanges="orientation/keyboardHidden" />